

12月25日(木)の南日本新聞11面に掲載

12月18日(木)に行われたスクールトレーナー

による出前授業の様子

志布志市で、子どものけが防止や運動能力向上を支援する「認定スクールトレーナー」の2人が活動を始めた。医療法人共生会（同市有明町野井倉）の理学療法士、緒方直人さ

ん(47)と安田和磨さん(27)。市教育委員会の委嘱を受け、18日に森山小学校で初めての出前授業へ臨み、児童に正しい姿勢や柔軟性の大切さを伝えた。

理学療法士・緒方さん、安田さん 志布志

市教委によると、認定スクールトレーナーは、理学療法士が医師と協力して児童生徒の健康増進やけが予防の教育、保健指導の支援などを担う仕組み。2024年度に制



タオル取り鬼で児童と体を動かす認定スクールトレーナーの緒方直人さん(中央)と安田和磨さん(右)

＝志布志市の森山小学校

けが予防、運動能力向上へ指導

「遊びを通して体幹の鍛え方が伝われば」と安田さん。緒方さんは「体が硬いとけがをしやすくなる。正しい姿勢、運動が大事だと知ってほしい。子どもたちの未来につながる活動をしていきたい」と話した。

2人は11月、スポーツ少年団指導者向けの講習を実施。今後は出前授業のほか、保護者・教職員向け講習なども開く予定。

(福留梓)



森山小児童に姿勢の大切さを伝える認定スクールトレーナーの安田和磨さん(後列左)、緒方直人さん(同右)

スクールトレーナー活躍